

■研究推進委員会 2023 年度 活動報告書

提出日：2024 年 3 月 日

名 称	都市公園リノベーション計画技法研究推進委員会
委員長 幹 事	平田富士男（兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科） 平松玲治（一般財団法人公園財団） 連絡先（e-mail アドレス）：reiji-hiramatu@prfj.or.jp
その他 構成員	今西良共（岐阜国際園芸アカデミー）、折原夏志（都市再生機構）、金清典広 （高野ランドスケーププランニング（株））、川尻幸由（（株）エイト日本 技術開発）、後藤 幸（岩間造園（株））、佐藤留美（NPO birth）、新保奈穂 美（兵庫県立大学）、曾根直幸（国土交通省）、竹内智子（千葉大学）、橋 俊 光（（株）空間創研）、塚田伸也（前橋市）、徳永 哲（東京大学）、萩野一 彦（（株）ランドプランニング）、別所 力（James Corner Field Operations）、 町田 誠（（一財）公園財団）、米田 剛行（東京都）、脇坂隆一（（一社） 2027 年国際園芸博覧会協会）
今年度 活動報告 成果	<p>研究会の活動としては、これまでの研究推進委員会での議論を図書としてとりまとめ、発刊すること、その内容を広く発信し、都市公園リノベーションの今後のあり方について多様な議論を巻き起こすことを目標に以下のような活動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none">・構成員（委員）等が参加するオンライン会議を年間 4 回行い、事例研究を行うとともに、図書の内容について検討した。・2023 年度の造園学会全国大会においてミニフォーラム「都市公園リノベーションの計画技法の体系はいかにあるべきか」を開催した。・本委員会のこれまでの議論をまとめた図書「生まれ変わる公園—公園リノベーションの指南書—」を刊行した。（2023 年 7 月、デザインエッグ社、ISBN 978-4-8150-3892-2）・韓国造景学会、韓国造園設計家協会と共同して国際シンポジウムを開催し、今後の都市公園リノベーションのあり方について両国で意見交換した。 <p>次年度は、これらの成果をさらに広く都市公園行政や事業に関わる専門家に発信し、意見交換を行いながらこれまでの検討内容をさらに深めていくべく、（一社）日本公園緑地協会との共同による全国研修会など、さらなる研究内容の発信を行っていくとともに、造園学会全国大会においてもミニフォーラムを開催し、会員と意見交換を行っていく。</p>